

## 被災地学校図書館の復興を願って

対崎 奈美子

(震災対応委員会委員長)

東北地方太平洋沖地震で被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

3月11日以来、連日報道される深刻な状況に胸が痛み、学校図書館活動に携わってきた者としてできることは何だろうかと模索していた。そんな折、全国学校図書館協議会（以下、全国SLA）が立ち上げた「震災対応委員会」の委員長を務めることとなった。微力ではあるが、被災地学校図書館の復興のために全力をつくしたいと考えている。

### 1. ニーズにあわせた支援

4月7日、埼玉県加須市の加須市立騎西小学校と旧県立騎西高等学校を、全国SLA学校図書館活動推進委員とともに訪問した。加須市は、福島第一原子力発電所の事故により避難指示が出され、町役場の機能も含めて集団避難した福島県双葉町の方々を受け入れた市である。

訪問当日は、騎西小学校に双葉町から100



双葉町民の避難先となっている旧県立騎西高校

名の転入生があるとのことで、翌日の入学式・始業式を控え、あわただしく準備に取り組んでいた。花壇には花が咲き、玄関には歓迎のことばが掲げられていた。職員室は活気に満ち、双葉町の子どもたちに快適な学びの環境をとの職員の気持ち伝わってきた。

対応してくれた教務主任に、全国SLAは図書の寄贈や整理等に協力することを伝えたと、大変喜ばれた。学校司書の配置はなく、急増した児童に対応できる学校図書館とするには、単に図書の寄贈にとどまらず、人手の支援も必要であると実感した。

旧騎西高校は2,000人近い町民の避難先となっており、町役場ぐるみの避難先ということからも注目されている場所である。校庭全面が駐車場となっていて、報道関係者のカメラが何台も入っていた。人や車の出入りが多く、騒然とした雰囲気にもまれていた。

この日、全国SLAが用意した図書100冊ほどを持参した。物資の受け入れは体育館で行われていて、多数のボランティアが活動していた。物資受け入れの責任者に組織名を名乗り訪問の趣旨を伝えると、双葉町立図書館の司書の方を呼んでくれた。多忙な中、校舎2階にある仮設教育委員会室にて話をすることができた。

すでに個人や団体から2,000冊の図書寄贈の申し出があるが、受け入れのできる状況ではないため、待ってもらっていること。いずれ落ち着いたら学習室を設置し、その部屋に

図書を台帳整理したうえで分類配架する予定であること。現在、加須市立図書館の貸出カードを持ち、子どもたちは利用していることなどを聞くことができた。今はまだ司書の仕事というよりも、住民票の整理などに追われているそうである。ご自身も被災にあわれながら、次の段階の整備に向けての意欲がことばのはしばしに強く感じられた。学習室整備のときには協力したい旨を伝え、退室した。

2か所の訪問だったが、「支援するにはまずニーズを確かめてから」ということを実感した。被災地ではなお避難先を移転する状況が続いている。まだ学校再開の目途が立たない地域がある。まずは、いつごろどんな支援・協力が求められているのか把握していきたい。

## 2. 学校図書館の被害状況の把握に向けて

文部科学省等のホームページには、教育関係の被害状況は掲載されているが、学校図書館の被害状況を知ることはできない。壊滅的な被害を受けた学校が相当数あることから、学校図書館も同様と考えることはできる。今後、統廃合される学校もあるだろう。今は、「とにかく学校再開の一步を」という段階であり、学校図書館の復興の議論に入るには少し時間が必要だろう。

しかし、新学習指導要領による学習が始まった今、子どもたちには一日も早く学習・情報センターとしての場を提供していきたい。また、押し寄せる津波に流されたり、今もなお続く余震におびえたりと、ストレスを抱える子どもたちに読書センターとしての場も提供しなければならない。

全国SLAは、ニーズにこたえる支援のために学校図書館の被害状況の把握に努めたい。今後、岩手県、宮城県、福島県、茨城県各SLAに対して、被害状況の調査をお願いしたいと考えているが、まだその時ではないだろう。ついては、ぜひ個人々人として学校図書館の具体的な被害状況をお知らせ願いたい。被害を

受けた学校の教職員の方々、知人から伝わった被害状況、報道関係の方が見た状況など、ありのままの状況を“声”として寄せていただくことにより、関係諸機関への迅速な発信をしていきたい（※“声”は全国SLAへのメール“info@j-sla.or.jp”へお送りください）。

## 3. 「震災対応委員会」現在の活動

対応委員会は、3月14日に全国SLA事務局内に組織され、現在、次の活動を行っている。

### ○震災対応ホームページの開設

全国SLAホームページに「東日本大震災」に対応するページ (<http://www.j-sla.or.jp/news/sn/post-24.html>) を開設する。

### ○情報収集と提供

震災による学校・図書館の被害状況、復興状況、援助等についての情報を収集し、広く提供する。

### ○義援金の募集

学校図書館の復興に特化した義援金を募集する。義援金は新本の購入等に充てる。ぜひ、多くの方々からのご協力をお願いしたい。

### ○学校図書館への本の寄贈

学校図書館整備推進会議をはじめ、多くの団体・機関・会社・個人等から新本の寄贈を受けて、学校図書館に新本を届ける。

### ○学校図書館Q&A

対応委員会に学校図書館の復興、援助に関し、多くの質問や相談が寄せられている。多い質問に対しては、ホームページにQ&Aの形で掲載する。

みぞうら  
未曾有の大震災である。学校図書館復興の道のりは、長く険しいものとなるだろう。しかし成し遂げなければならない。学校図書館が本来の機能を発揮することが、学校教育の復興となり、日本の未来になう子どもたちへの最良の贈り物となるからである。

(ついぎき・なみこ＝全国学校図書館協議会 参与)